

# ロックアシスタⅡ LA-1, LA-2, LA-3

## 取扱説明書 保証書付き

このたびは、ハビナス ロックアシスタⅡ(LA-1 , LA-2 , LA-3) をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で正しくお使いいただきますようお願い致します。なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。



※使用写真：LA-3

---





目 次	
1. 安全にお使いいただくために .....	2
2. おもな機能と特長 .....	5
3. 各部の名称 .....	6
4. 使用方法 .....	7
5. 使用前の点検 .....	13
6. お手入れの方法 .....	14
7. 保管方法 .....	15
8. 仕様 .....	15
9. アフターサービス .....	15
保証書 .....	16

---

# 1. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。



いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。

 <h2>警告</h2> <p>誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。</p>	 <h2>注意</h2> <p>誤った取扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。</p>	 <h2>禁止</h2> <p>製品使用上、禁止とする行為を示します。</p>
 <h2>指示</h2> <p>製品使用上、必ず行っていたきたい行為を示します。</p>		

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

## 操作・走行上の注意

### 警告

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品は1人用に設計されています。2人以上で使用しないでください。 ※最大使用者体重（積載物含む）は100kgです。</li> <li>●スピードを出さないでください。スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは、転倒の恐れがあり大変危険です。</li> <li>●走行中に駐車ブレーキを使用しないでください。転倒の恐れがあります。</li> <li>●バックしながら、急停止しないでください。転倒の恐れがあります。</li> <li>●座面以外の部分に腰をかけないでください。</li> <li>●走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。</li> <li>●アームサポートやフットサポートなどを持って車いすを持ち上げないでください。</li> <li>●車輪に体の一部や物を差し込まないでください。手や指を挟み、ケガをする恐れがあります。</li> <li>●階段、エスカレータ、段差のあるところや、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では走行しないでください。</li> <li>●凹凸のある場所では、前かがみ姿勢で使用しないでください。 バランスを崩し転倒する恐れがあります。</li> <li>●台車の代わりにするなど、使用者の移動目的以外での使用はしないでください。</li> </ul>
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご使用中に、異常を感じたらすぐにご使用を中止してください。</li> <li>●急な下り坂で介助する時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。</li> <li>●坂道の走行には介助者を伴い走行してください。</li> <li>●走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。</li> <li>●階段、踏切を横断する際の溝や踏み切りの路線による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。</li> <li>●認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので十分注意してください。</li> <li>●移動中に使用者のつま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。</li> </ul>

## 操作・走行上の注意

### ⚠ 注意



禁止

- 車いすを火気に近づけないでください。ヤケド・火災・故障の原因になります。
- タイヤを持って車輪を操作しないでください。駐車ブレーキに指を挟み危険です。
- 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。
- 車いすが不安定になる為、ポケット、手押しハンドルなどに重いものを引っ掛けないでください。
- ケガをする恐れがある為、車いすを開く際、座面シートで手を挟まないように注意してください。
- アームサポートを跳ね上げた状態で、アームサポートに力を掛けないでください。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。  
摩擦で手にケガをする恐れがあります。
- 使用者の体格や座位姿勢によってサイドガードが外側に広がってしまう場合は使用しないでください。



指示

- 回転している後車輪に指を挟まないように注意してください。
- 夜間や雨天時には、通行者や車から発見しにくくなりますので十分注意してください。
- 介助者は、使用者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、前輪キャスター及び地面・建物、通行者に触れたり挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。
- フット・レッグサポートを取付けた際は、確実に固定されていることを確認してください。
- フット・レッグサポートを開いたり、取外しを行う際は、手や指を挟まないように注意してください。
- フットサポートが固定されているのを確認してご使用ください。

## 停止時の注意

### ⚠ 警告



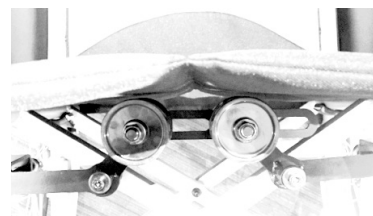
指示

- 停止時は、必ず両駆動輪に駐車ブレーキを掛けてください。  
タイヤロックは、駐車ブレーキを掛け忘れた時の補助ブレーキです。
- 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。
- 車いすを畳んだ状態で横向きにして、上に物を載せないでください。フレームが曲がり、故障の原因になります。
- 使用される方の症状や状態で、座面中央部に着座しないことにより、タイヤロックが十分に解除せず、走行に支障をきたすことがあります。同様の理由で、立ち上がり時にタイヤロックが十分に作動しない場合があります。その場合、使用を中止していただくか、あるいは、着座位置が中央部になるように調整していただき、タイヤロックが解除されることを確認してください。

- 車載用の固定フックをタイヤロックユニット及び座面下ユニットに掛けしないでください。無理な負担が加わり、破損に繋がる恐れがあります。



タイヤロックユニット



座面下ユニット

## 移乗時の注意

### 警告



禁止

- 移乗する時は、駐車ブレーキレバーに体重をかけないでください。
- フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。



指示

- 移乗する時は、必ず両駆動輪に駐車ブレーキを掛けてください。
- 移乗する時は、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。  
また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないよう注意してください。
- 移乗や駐車は平坦な場所で行ってください。

## 段差乗り越えの注意

### 注意



禁止

- 無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。  
足元のティッピングレバーに足を当て、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段差の上に上げてください。
- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。使用者が転落して、事故の原因になります。



指示

- 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げるときは、2人以上で行い使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。

## 保守・点検の注意

### 警告



禁止

- 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。
- 故障、異常があるときは、事故や転倒の恐れがある為、使用しないでください。



指示

- 使用する前に駆動輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのねじを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。  
※タイヤロックユニット、座面下ユニットは、調整・分解しないでください。
- 車いすに水がかかった場合は、直ちに拭き取ってください。
- 各部を調整するときは、平坦な場所で行ってください。
- 車いすを自動車に載せたり、降ろす際は、大きな衝撃を与えないよう、ゆっくり降ろしてください。  
車いすの破損や故障の原因になります。

## 2. おもな機能と特長

### ■シートから立ち上がると自動的にタイヤロックが働き、車いすのブレーキが掛かります。

※ タイヤロックは、万が一駐車ブレーキを掛け忘れたまま立ち上がった場合に、車いすが前後方向へ動いてしまう事を防止する補助機能です。

※ 立ち上がる際に後方に力が加えられなかった場合には、前進方向にタイヤロックが効かないことがあります。故障ではありません。

● 車いすのみ（使用者が乗っていない状態）で移動するときは、後方のタイヤロック解除レバーを踏み込むことで、タイヤロックが解除されます。シート中央部に座るとタイヤロックがリセットされます。

● 使用者の適用体重は35kg以上です。

### ■車いすへの移乗がスムーズにできます。(LA-3)

● 跳ね上げ式アームサポート。

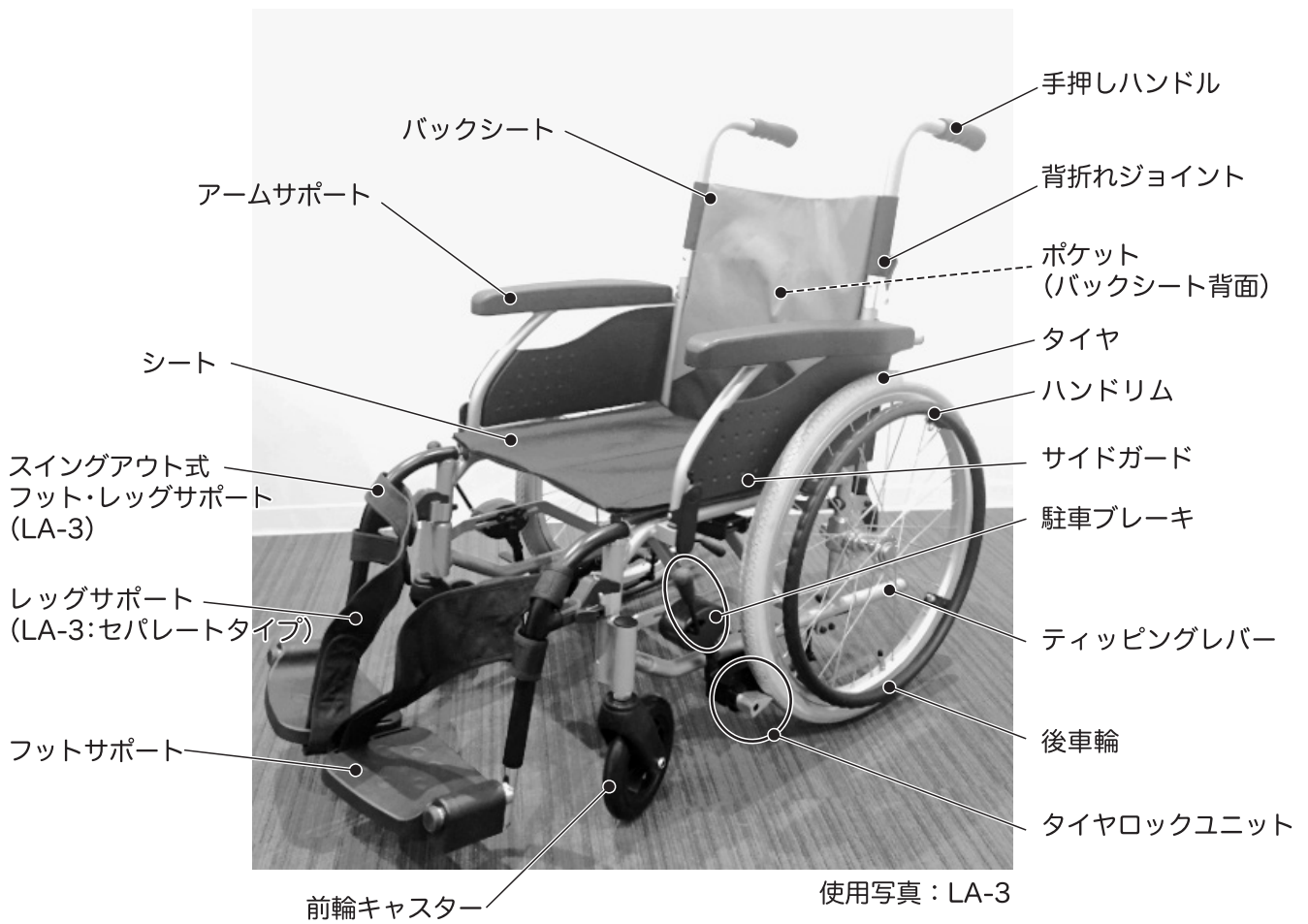
アームサポートを跳ね上げることにより、スムーズに移乗ができます。

● スイングアウト式フット・レッグサポート。

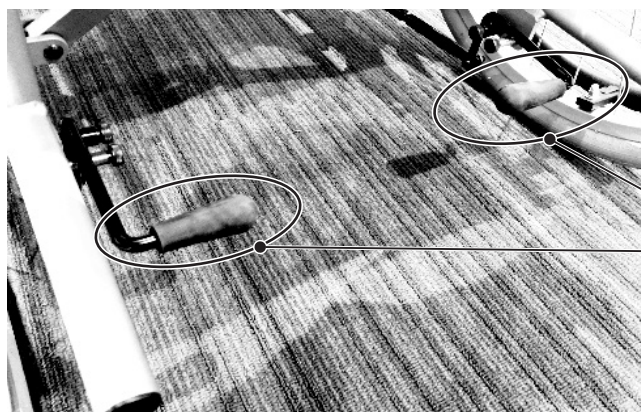
フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などに近づくことができます。また、フット・レッグサポートは取外すことができます。



### 3. 各部の名称



車いす後ろ側



タイヤロック解除レバー

## 4. 使用方法

以下①～③があることをご確認ください。

①製品本体 ②取扱説明書(本書) ③スイングアウト式 フット・レッグサポート(LA-3)

①



②

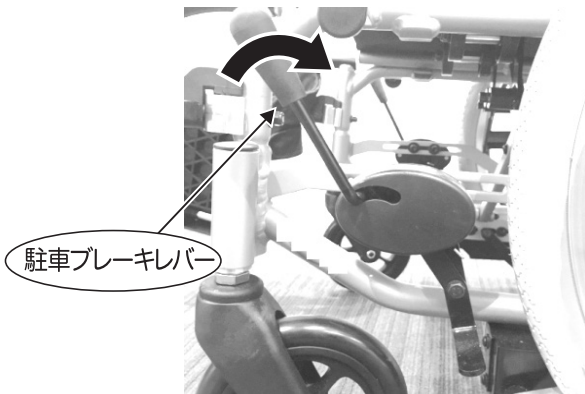


③



### 1) 駐車ブレーキの掛け方、解除の方法

駐車ブレーキレバーを矢印の方向に引くと駐車ブレーキが掛かり、戻すと解除されます。



**注意**



停止時は、必ず両輪に  
駐車ブレーキを掛けて  
ください。

### 2) タイヤロックの取扱い

使用者が車いすから立ち上がると、タイヤロックが働き、駆動輪に補助ブレーキが掛かります。



**警告**



移乗や駐車の際は、水平な場所で行ってください。



**注意**



シート中央部にきちんと体重が掛かるように座ってください。  
本製品はシート中央部にて着座を感知します。



**注意**



停止時は、駐車ブレーキを必ず掛けてください。タイヤロックは  
駐車ブレーキを掛け忘れだときの補助ブレーキです。



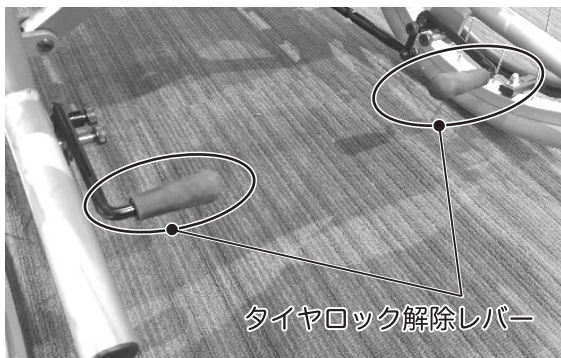
**注意**



駆動輪の空気圧が低すぎると、駐車ブレーキの効が悪くなります。  
目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください  
※適正空気圧 300kPa (3.0kg f/cm<sup>2</sup>)

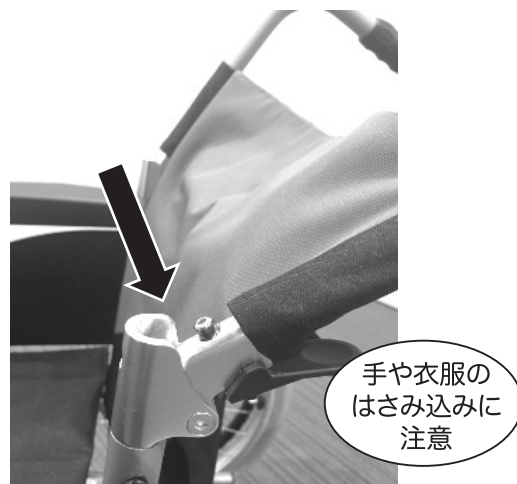
### 3) タイヤロックの解除方法

シート中央部に座ると自動的にタイヤロックが解除され、タイヤロック解除レバーが跳ね上がります。車いすのみ（使用者が乗っていない状態）で移動するときは、後方左右のタイヤロック解除レバーを踏んでください。タイヤロックが解除され、車いすを移動することができます。



### 4) 手押しハンドルの起こし方

車いすのシートを広げる前に、手押しハンドルを起こします。手押しハンドルは最後まで起こしますとロックされますので、必ずロックされていることを確認して下さい。シートなどを背折れジョイントに挟み込まないように注意してください。



- ⊘ 手押しハンドルを起こす・たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または身体の一部や、衣服をはさんでケガをしたり、衣服が破損する恐れがあります。

### 5) 手押しハンドルのたたみ方

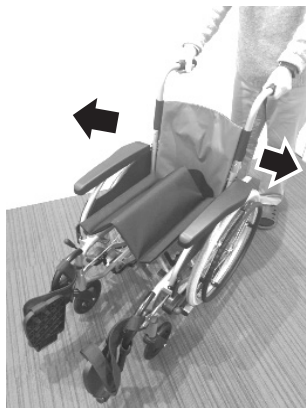
手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを後方へ引きながら手押しハンドルを倒します。



## 6) シートの開き方

- ①両輪の駐車ブレーキを掛けてください。 ※P.7 1)参照
- ②手押しハンドルを軽く持ち、本体を浮かせながら左右に開きます。
- ③片側の車輪を浮かせながら、浮いていない方のシート端のパイプ部分を上から手で押します。

②



③



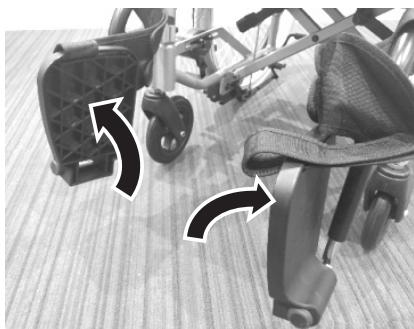
注意

- ⊘ 座面シート端のパイプを握らないでください。手が挟まれ危険です。

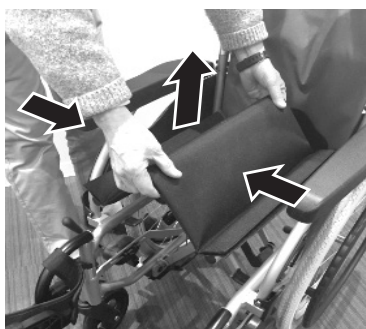
## 7) シートのたたみ方

- ①両輪の駐車ブレーキを掛けてください。 ※P.7 1)参照
- ②両側のフットサポートを跳ね上げます。
- ③座面シートの前方と後方の中央部を同時に持ち上げます。
- ④手押しハンドルを持ち、本体を浮かせ、両側からしっかり押さえます。

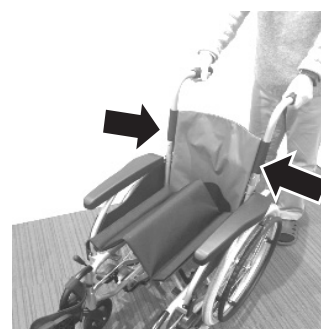
②



③



④

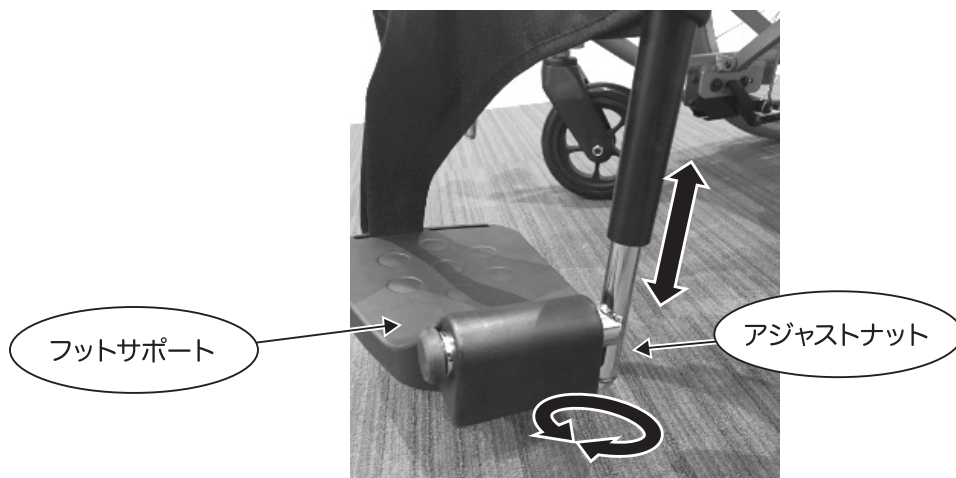


注意

- ⚠ シート中央部の面ファスナーは確実に貼り合わせてください。

## 8) フットサポートの高さ調節

- ①アジャストナットをスパナでゆるめ、フットサポートを上下させて、使用者の足位置に合わせます。
- ②位置が決まったら、アジャストナットを締め込み固定します。



注意

- ⚠ フットサポート高さは、床から5cm以上あげてください。  
車いすを走行させる時に障害物にぶつかる恐れがあります。

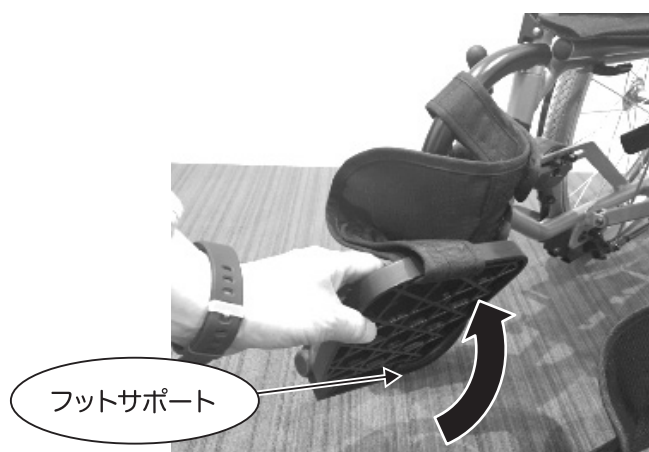


注意

- ⚠ アジャストナットは、13mmスパナで確実に締め付けてください。

## 9) フットサポートの取扱い方法

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。  
移乗時や介助の妨げになるときは跳ね上げてください。



注意

- ⊘ フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。

## 10) 跳ね上げ式アームサポートの取扱い方法 (LA-3のみ)

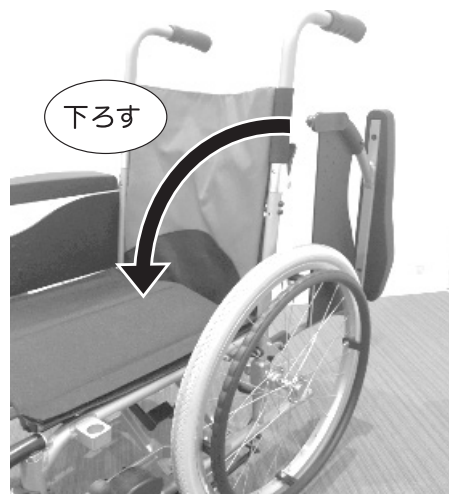
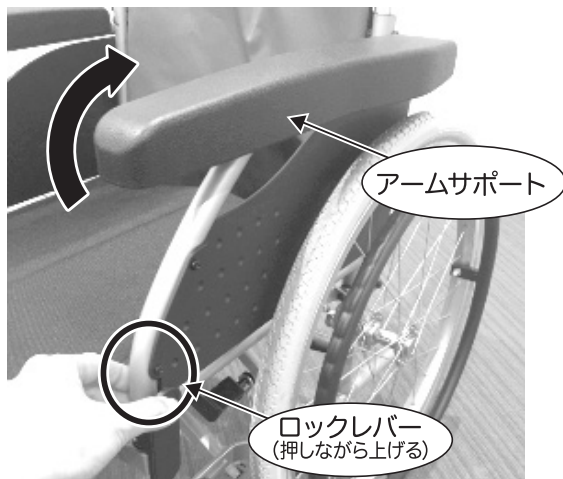
アームサポートを跳ね上げることで、横からの移乗が容易に行えます。

### ①アームサポートの跳ね上げ

ロックレバーを押しながらアームサポートを跳ね上げます。

### ②アームサポートの取付け

アームサポートを下ろし、ロックレバーが引っ掛かり、しっかりと固定されるまで下ろします。



注意

▲ アームサポートを下ろす際は、身体や衣服をはさまないように注意してください。



注意

▲ アームサポートを取付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

⊘ アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

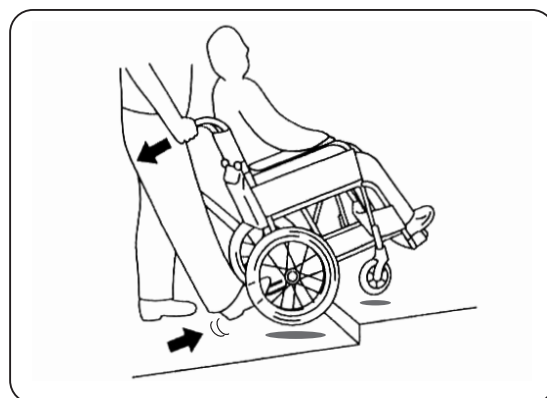
## 11) 段差乗り越えの方法

足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、キャスターを段の上へ上げてください



注意

⊘ 無理な力による段差乗り越えはしないでください。  
フレームの破損につながります。



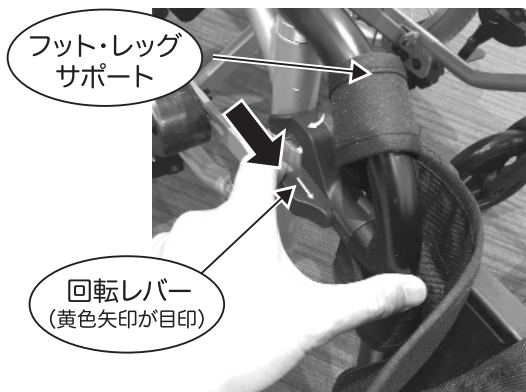
注意

▲ フットサポートの先端を段差、障害物にあてないよう注意してください。

## 12) スイングアウト式フット・レッグサポートの取扱い方法 (LA-3のみ)

フット・レッグサポートを開くことで、ベッド・椅子などに近づくことができます。

① 矢印方向に回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。



取外し



取付け



注意

- ⚠ フット・レッグサポートの回転、取外し、取付けは、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けた状態で行ってください。
- ⚠ フット・レッグサポートを取付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。



## 5. 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や今までと違う異音やガタつきがあった際には、ご使用中を中止し、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

### ①タイヤの空気圧の確認

駐車ブレーキの性能を維持するため、空気圧の確認を行ってください。

適正空気圧 300kPa(3.0kgf/cm<sup>2</sup>)

### ②駐車ブレーキの作動確認

駐車ブレーキレバーを操作し、駐車ブレーキが掛かることを確認してください。



駆動輪の空気圧が低いと駐車ブレーキが掛からない場合や、駐車ブレーキの掛かりが悪くなる場合があります。空気圧はこまめに点検・調整してください。

### ③タイヤロックの作動確認

- 1) シートに使用者が乗っていない状態で、車いすを後方に押してタイヤロックを作動させ、タイヤが前後に回転しないことを確認してください。
- 2) 使用者がシートに座った時に、タイヤロックが解除される(左右のタイヤロック解除レバーが上がっている)ことを確認してください。
- 3) 使用者がシートから立ち上がった時にタイヤロックが働き、車いすが前後に動かないことを確認してください。
- 4) タイヤロック解除レバーを踏んだ時、タイヤロックが解除されることを確認してください。  
また、タイヤロック解除レバーを踏んだ状態でシートに座った時、タイヤロック解除レバーが跳ね上がり、タイヤロックが解除されていることを確認してください。

### ④可動部分の確認

前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタつき、ねじの緩みのないことを確認してください。ねじが緩んでいると、ねじが脱落し、事故につながる恐れがあります。



タイヤロックユニット、座面下ユニットは、調整・分解しないでください。

### ⑤消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になった時は、早めに交換してください。

新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店又は、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

## 消耗品・交換部品

部 品 名	交 換 時 期
駆 動 輪	タイヤ表面の溝がなくなった時。表面がひび割れた時。
前 輪 キ ャ ス タ ー	しっかり取付けていてもガタガタする時。表面がひび割れた時。
シ ー ト	ほつれ、切れ目が発生した時。ひどく汚れた時。
バ ッ ク シ ー ト	



交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。それぞれの部品が交換時期になった時は、お早めに交換してください。

## 6. お手入れの方法

### ①本体フレームのお手入れ

- 1) フレーム汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。  
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 2) 水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。



- ⊘ ●車いす本体の水洗いはおやめください。動作部の油が流れ落ち、動作に支障をきたす恐れがあります。
- 熱湯やオゾンで洗淨しないでください。製品を傷める恐れがあります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。  
製品を傷める恐れがあります。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。  
製品を傷める恐れがあります。

### ②樹脂(プラスチック)部のお手入れ

- 1) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
- 2) 水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。



- ⊘ 樹脂部やクッションを消毒用アルコール、有機溶剤、塩素系洗剤などで拭きますと変色、劣化の恐れがありますので、おやめください。

### ③走行性の確認

まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までへお問い合わせください。

### ④駐車ブレーキ作動確認

駐車ブレーキのレバーを操作し、駐車ブレーキがかかることを確認してください。

### ⑤シートの確認

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所などに放置したり、長時間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、たるみ、破損が著しい場合は定期的に駐車ブレーキのリンク部に注油をおこなってください。交換をお勧めします。

### ⑥タイヤロックの確認

シートに座ったとき、タイヤロック解除レバーが跳ね上がらなくなった場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室にお問い合わせください。

### ⑦各部ネジの確認

駆動輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのネジを点検し、緩んでいるときは増し締めをしてください。



- ⊘ タイヤロックユニット、座面下ユニットは、調整・分解しないでください。

## 7. 保管方法

- ①収納スペースが少ない時は、車いすをたたんで保管してください。
- ②製品の劣化をさけるため、直射日光が当たる場所、雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所を避けた室内に保管してください。
- ③錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が著しく高い場所（50℃以上）には保管しないでください。

## 8. 仕様

項 目		LA1	LA2	LA3
材 質	フ レ ー ム	アルミ		
	シ ー ト (表 地)	ポリエステル		
	シ ー ト (中 材)	ウレタンフォーム		
寸 法	全 長	998mm		1030mm
	全 幅	640mm		610mm
	全 高	860mm		885mm
	座 面 幅	400mm		
	座 面 奥 行	400mm		
	前 座 高	435mm	375mm	400mm
	後 座 高	410mm	350mm	375mm
	アームサポート高	225mm		
	後 輪 × 前 輪	22 × 6 インチ	20 × 6 インチ	
最大許容体重		100kg		
重 量		16.6kg	16.3kg	17.3kg

※製品は、品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

## 9. アフターサービス

### この製品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

### 修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この製品の品名、製造番号（ロットNo.）、および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ(株)またはピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

### 製品の保証について

- 1) 保証内容につきましては、次のページの保証書をご覧ください。
- 2) 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

#### ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル

ピジョンタヒラ  
(代表) TEL **03-3661-4371**

ピジョンタヒラホームページは <http://www.pigeontahira.co.jp>

#### ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4

ピジョン  
お客様相談室 TEL **0120-741-887**

**受付時間** 9時～17時(土・日・祝日を除く)

ピジョンホームページは <https://pigeon.info/>

# 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室までお問い合わせください。

## 保証規定

- 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
  - 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理致します。ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。  
ただし、前輪キャスター・タイヤの摩耗、シートの破れなど、交換時期となった消耗品・消耗部品は保証対象に含まれません。
  - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
    - プラスチック・ゴム・木部品の自然劣化による変色。
    - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
    - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
    - 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - 本書のご提示がない場合。
    - 有料修理の場合に要する発送運賃、消耗品の代金。
    - 縫製部品の傷や破れ。また洗濯による退色や収縮。
  - 本書は日本国内にのみ有効です。海外からの修理サービスはできません。
  - 製造中止後の製品については必要部品がなくなった場合、修理できない事があります。
- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店先をただちにご記入願います。
  - 万が一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。  
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室までお問い合わせください。

製品名	シリアル番号	保証期間
ハビナス ロックアシスタⅡ		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月
	ご住所 〒	TEL
販売店	店名	TEL
	住所 ※1	

※1 お買い上げ時のレシート添付でも有効

## ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル  
ピジョンタヒラ(代表)

TEL **03-3661-4371**

ピジョンタヒラホームページは  
<http://www.pigeontahira.co.jp>

## ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4  
ピジョンお客様相談室

TEL **0120-741-887**

受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)

ピジョンホームページは  
<https://pigeon.info/>